

2012年6月8日

福井県知事
西川 一誠 殿

国鉄労働組合東海本部
執行委員長 渡邊 良成

大飯原発3・4号機の再稼働しないことの要請書

県民のための県政実現に、日頃から奮闘されていることに敬意を表します。

5月30日に政府は、関西電力大飯原発3・4号機の再稼働を関係閣議で決定し、本日、再稼働に向け首相が判断し、国民への説明を行い、貴職に対して要請を行うとの報道がなされています。

しかし、原発の再稼働については、多くの国民が不安を持ち、様々なアンケート調査でも反対する意見が多く、マスコミでも再稼働にたいし、疑問視する声が出されています。

関西広域連合は、再稼働を事実上容認する声明を発表しましたが、多くの首長に対して抗議が寄せられているとも報道されています。

福島第一原発の事故では、原発そのものの安全性や原子炉が暴走してしまうと、現在の科学力では制御できないことなどが多くの国民の前に明らかになりました。さらに、未だに十分な対策が行われないうまま、放射能による生活不安が広がっています。

また、原発事故についての原因究明が事故調査委員会等で行われている最中の原発再稼働は、受け入れられるものではありません。

このように多くの国民が不安を感じ、原発に依存しない世の中を望んでいるにもかかわらず、世論を置き去りにしたまま再稼働強行する姿勢に対して憤りを感じます。

東日本大震災と福島第一原発事故以降、私たちをはじめ多くの国民は、これからの日本のあり方や未来を考え、原発に依存しない世の中や安心して暮らせる世の中の選択をしようとする声も大きくなっています。

私たち国鉄労働組合は、以前から原発に反対し、エネルギー政策の転換を求めて活動してきました。

野田首相は、再稼働については、「政府が責任を持つ」と発言していますが、現在の被害の補償や除染、災害瓦礫の問題などそのいっさいに責任を明確にしていないのが現状ですし、具体的な責任の内容も明確ではありません。

首相からの要請に対して、県民の生活と安全を守ることをはじめ、多くの国民の生活と安全を守るために、大飯原発をはじめとした、すべての原発の再稼働に反対し、原発に依存しない社会を作り上げることを強く要請いたします。

以上

2012年6月8日

内閣総理大臣
野田 佳彦 殿

国鉄労働組合東海本部
執行委員長 渡邊 良成

大飯原発3・4号機の再稼働方針に対する抗議

5月30日政府は、関西電力大飯原発3・4号機の再稼働を関係閣議で決定し、本日、記者会見を行いエネルギー政策上、原発の再稼働が必要なことの説明を行い、福井県知事の同意を得るとしています。

しかし、原発の再稼働については、多くの国民が不安を持ち、様々なアンケート調査でも反対する意見が多く、マスコミでも再稼働にたいし、疑問視する声が出されています。

関西広域連合は、再稼働を事実上容認する声明を発表しましたが、多くの首長に対して抗議が寄せられているとも報道されています。

福島第一原発の事故では、原発そのものの安全性や原子炉が暴走してしまうと、現在の科学力では制御できないことなどが多くの国民の前に明らかになりました。さらに、未だに十分な対策が行われないまま、放射能による生活不安が広がっています。

また、原発事故についての原因究明が事故調査委員会等で行われている最中の原発再稼働は、受け入れられるものではありません。

このように多くの国民が不安を感じ、原発に依存しない世の中を望んでいるにもかかわらず、世論を置き去りにしたまま再稼働強行する姿勢に対して憤りを感じます。

東日本大震災と福島第一原発事故以降、私たちをはじめ多くの国民は、これからの日本のあり方や未来を考え、原発に依存しない世の中や安心して暮らせる世の中の選択をしようとする声も大きくなっています。

私たち国鉄労働組合は、以前から原発に反対し、エネルギー政策の転換を求めて活動してきました。

貴職は、再稼働については、「政府が責任を持つ」と発言していますが、現在の被害の補償や除染、災害瓦礫の問題などそのいっさいに責任を明確にしていないのが現状ですし、具体的な責任の内容も明確ではありません。

この度の大飯原発の再稼働は、国民の声に背を向け、国民の生活と安全を守るという政府の職責を放棄したものであり、断じて許せるものではありません。

大飯原発の再稼働方針に断固抗議し、即時中止することを強く求めます。

以 上